

平成26年11月22日22時08分頃の長野県北部の地震について（第4報）

今回の地震について、これまでの余震活動を解析した結果をもとに、今後の余震発生の見通しについて、お知らせします。

○余震活動について

余震活動は、姫川沿いに小谷村から白馬村の南北約20kmにかけた余震域で発生しています。今回の余震活動は、過去に発生した主な地震に比べて活発ではありませんが、引き続き注意が必要です。現在までに発生した最大の余震は11月22日22時37分（本震約29分後）のM4.5（最大震度5弱）で、本日24日6時12分頃にもM3.8（最大震度4）の余震が発生しています。

今後の余震発生確率は、11月24日10時から3日間で、震度5強以上の揺れとなる余震が発生する可能性が10%、震度5弱以上となる余震が発生する可能性が30%です。

○防災上の留意事項

揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているおそれがありますので、今後の余震活動に十分注意してください。

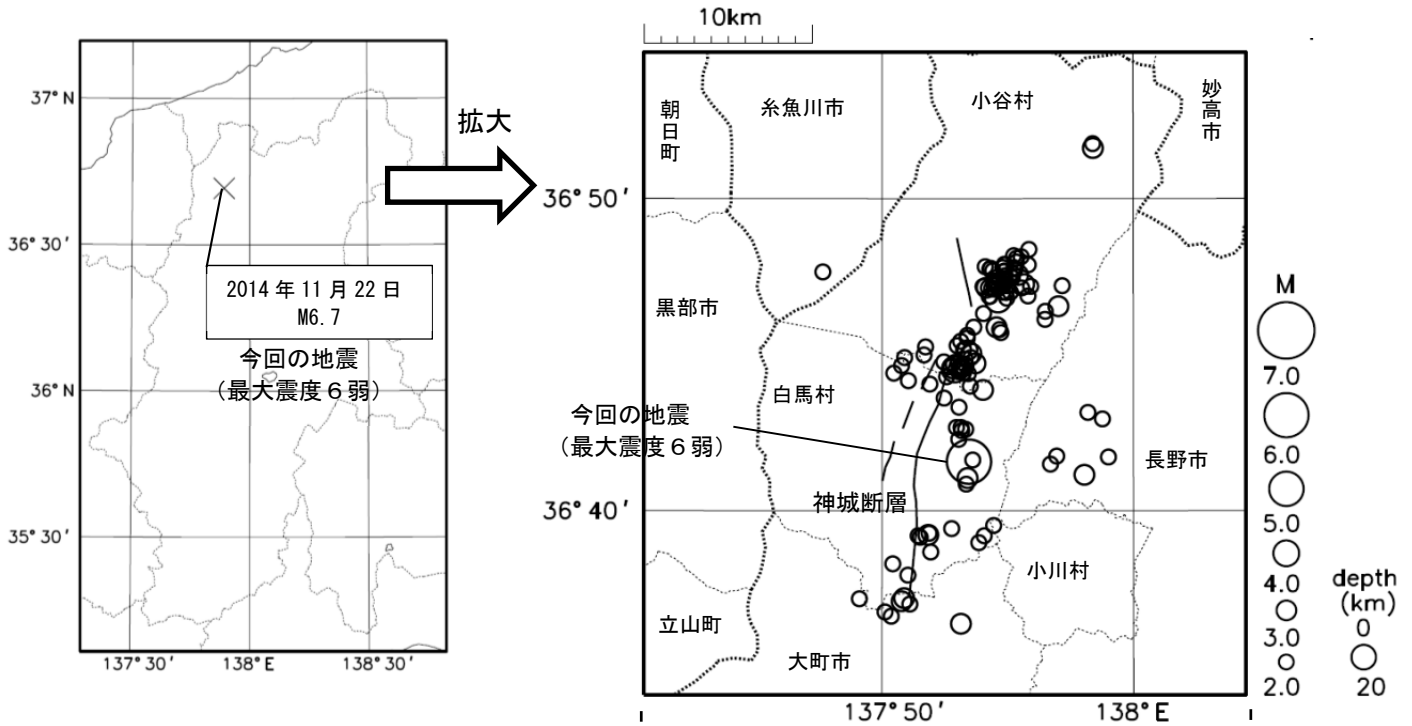
なお、次回の余震発生確率の発表は、11月27日に行う予定です。

震央分布図

(2014 年 11 月 22 日 22 時～2014 年 11 月 24 日 6 時 30 分※、深さ 0～20km、M2.0 以上)

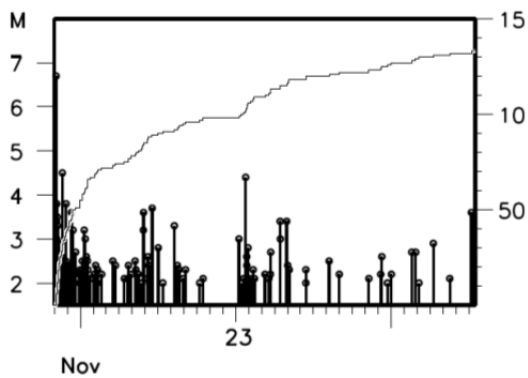
※ 24 日 6 時 30 分時点で震源決定処理を行った地震を表示している。

今後の詳細な分析によりこの結果は変わることがある

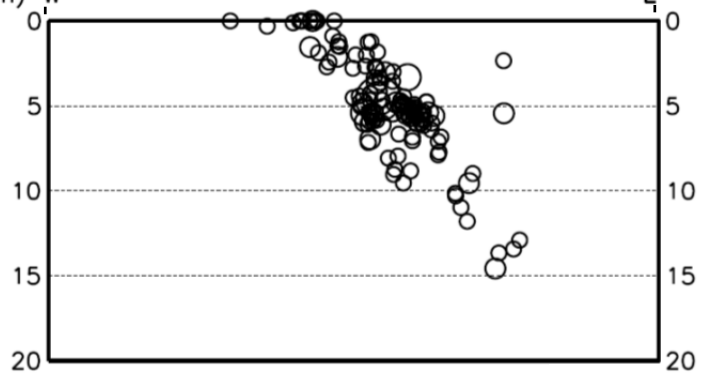


地震活動経過図・回数積算図

2014 11 22 22:00 -- 2014 11 24 06:30 (km) W E



断面図



余震発生確率

余震は引き続き発生していますので、十分に注意してください。

余震活動は時間の経過とともに減衰しているものの、一時的に活発化していますので、今後なお1週間程度は、震度5弱ところによっては震度5強の揺れとなる余震が発生するおそれがあります。本震によって強い揺れとなった地域では、余震によって家屋の倒壊や土砂崩れなど、さらに被害が拡大するおそれがあります。

11月24日06時30分現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	マグニチュード5.0以上	マグニチュード4.5以上
11月24日10時から3日間以内	10%	30%
11月27日10時から3日間以内	10% 未満	20%

マグニチュード5.0： ところによって震度5強になる可能性がある

マグニチュード4.5： ところによって震度5弱程度になる可能性がある*

* 震源直上ではこれよりも震度が大きくなる可能性があります。

・余震発生確率を算出するにあたっての前提

これまでの地震活動の推移から、本震—余震型の活動であると判断しており、本震—余震型であることを前提として、余震発生確率を算出しています。

・本震—余震型の特徴

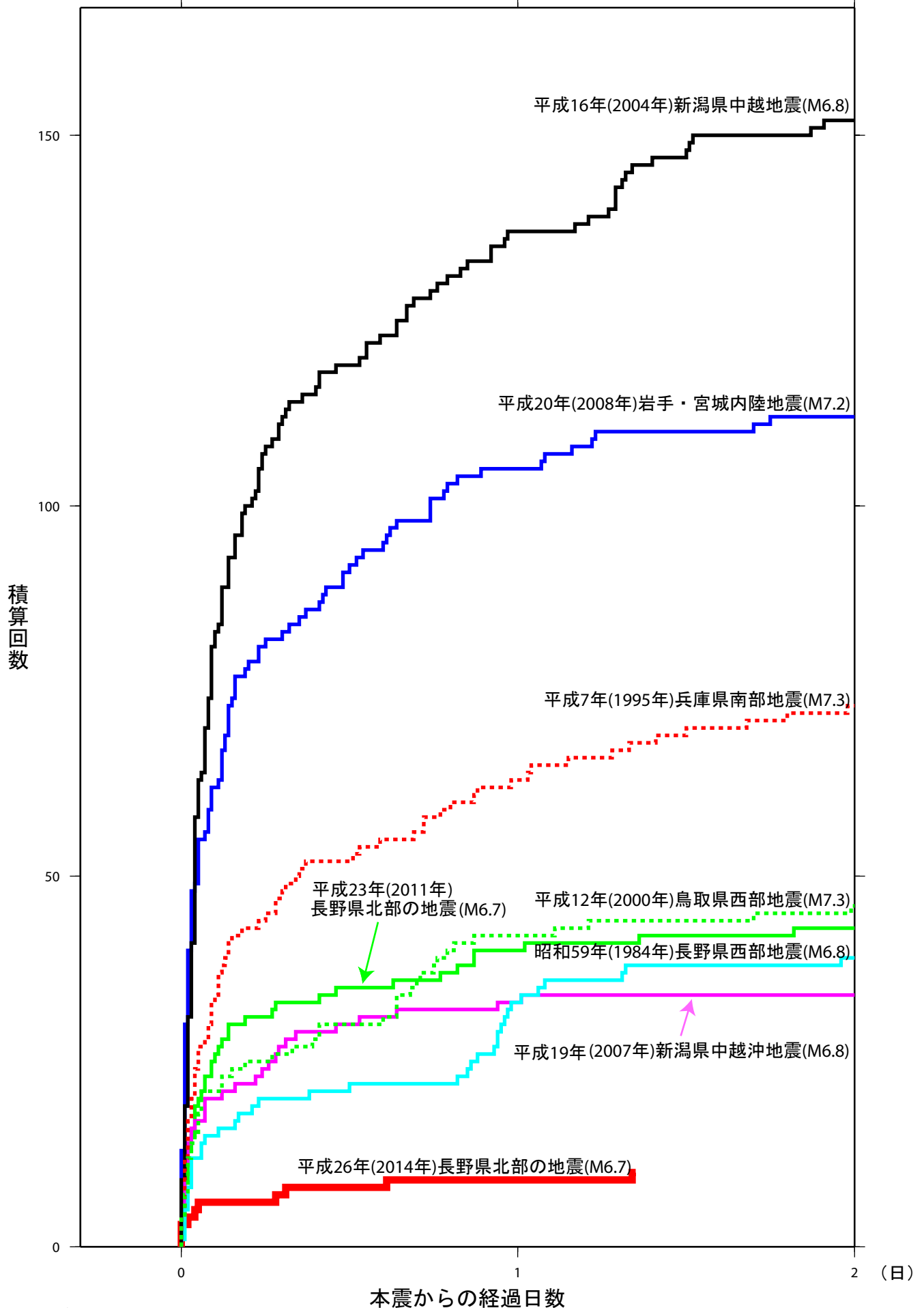
本震—余震型の地震活動では、最初に最も規模の大きい本震が発生し、それに続いて余震が多数発生します。余震の発生数は大局的には時間とともに徐々に減少していきます。ただし、余震の減少の仕方は様々で、単調に減少していくこともあります。場合によっては減少していく過程で増減を繰り返すこともあります。

・余震発生確率の意味

ある大きさの余震に注目した場合に、その大きさの余震が、ある時点から3日間とか1週間等の期間内に発生する確率を余震発生確率と言います。例えば、マグニチュード6以上の余震がある時点から3日間以内に発生する確率が30%である場合、3日間以内にマグニチュード6以上の地震が必ず発生するとは評価されませんが、全く発生するおそれはないという評価でもありません。同様の地震活動がある場合であれば、10回のうち3回については3日間以内にマグニチュード6以上の余震が発生するという意味です。

内陸及び沿岸で発生した主な地震の 余震回数比較（※本震を含む）（マグニチュード3.5以上）

2014年11月24日06時30分現在



※本震を含む。

※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。

気象庁作成